



鳥取大学グローバルCOEプログラム「持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用」



http://rendai.muses.tottori-u.ac.jp/Japanese_data/gcoe/index.html

■ プログラムの概要

「グローバルCOEプログラム」とは、世界最高水準の研究基盤のもとで、世界をリードする創造的な人材育成のための教育研究拠点形成を支援する、文部科学省の事業です。鳥取大学では、平成19年度に「乾燥地科学拠点の世界展開」、そして平成20年度に「持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用」と、2件ものプログラムが採択されています。

■ 特色

鳥取大学大学院連合農学研究科（博士課程）が中心となり、大学院工学研究科・大学院医学系研究科とも連携を図りながら、菌類きのこ資源科学についての幅広い教育研究を行っています。

鳥取大学農学部は、学部から大学院修士課程までの教育コースに植物菌類資源科学コースを設置し、さらに大学院博士課程（連合農学研究科）では国際的に活躍できる人材を育成するために海外実習を設けるなど、菌類きのこに関する、体系的な特色のある教育を行っています。

拠点の中核となっている「農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター（FMRC）」は、国内唯一の菌類きのこに関する教育研究組織であり、「(財)日本きのこセンター菌茸（きんじん）研究所」から分譲された菌類きのこ遺伝資源を核に、約1,300種13,000株を保有しています。

本プログラムでは、これらの遺伝資源を活用するとともに、海外の拠点や協力機関とのネットワークの形成により、さらなる遺伝資源の発掘と活用、情報交換や人材育成の充実を図っています。そのために、海外での調査・研究に博士課程学生を派遣して経験を積ませるとともに、学術交流の発展を図ることを特色としています。



■ 実施体制

- 専攻等名 連合農学研究科生物環境科学専攻、工学研究科化学・生物応用工学専攻
- 拠点リーダー 前川二太郎
- 事業推進担当者
 - 〈基盤研究グループ〉 児玉基一郎、前川二太郎、伊藤真一、難波栄二、松本晃幸、中桐 昭
 - 〈活用研究グループ〉 中島廣光、會見忠則、河田康志、久留一郎、尾谷 浩、築瀬英司、荒瀬 榮、井藤和人